

秋田公立美術大学は平成29年4月、大学院・複合芸術専攻を開設します。

今私達が考えなければならぬ大きな課題の一つとして、人口問題が挙げられます。これらは地球的課題であると同時に、ローカルな社会的課題でもあります。たとえば地球全体では急激な人口爆発が懸念されている一方、日本

地球課題×美術大学

の東北地方では急な高齢化や人口減少が進むことで、社会構造が劇的に変化することが予測されます。大学院・複合芸術専攻では、このような地球的/地域的課題の双方を視野に入れています。同様に、地球環境問題についても人間中心主義やテクノロジー至上主義を超えて、多面的な価値観に基づく新たな芸術次元の創造によって貢献します。

ローカル×グローバル

本大学院は複合芸術専攻として「研究科」専攻で開設します。ここで言う複合芸術とは、一つは表現者個人の内部に形成される「複合（個人の技術として習得される包括性≡comprehensiveness）」、もう一つは作家個人が外部（他の専門領域や計画・対象のステークホルダー）と連携・協働あるいはそれを誘導する役割を果たして実現する「複合（社会的に生成・実践される超専門性≡transdisciplinarity）」積極的に超えられる専門領域」です。

過去×未来

秋田はまさに様々な課題に直面する「課題先進地」と呼べる状況にあり、ここでの他に先駆けての取り組みは、一地方の問題としてだけでなく、他の国や地域でも同様の課題を考える上で大きな意味を持ちます。本学は地方が抱える課題を一つの軸とし、

個人×社会

【本大学院で養成していく人材】
①自ら修得した表現技法をもとに、情報技術を理解し活用しながら複合的な表現を創造・研究する者。
②アートマネジメントのスキルを学び、アートによる地域振興や文化支援を実践する者。
③ソーシャルデザインを基に、地域課題の解決や自ら社会的起業を達成できる者。

知識×閃き

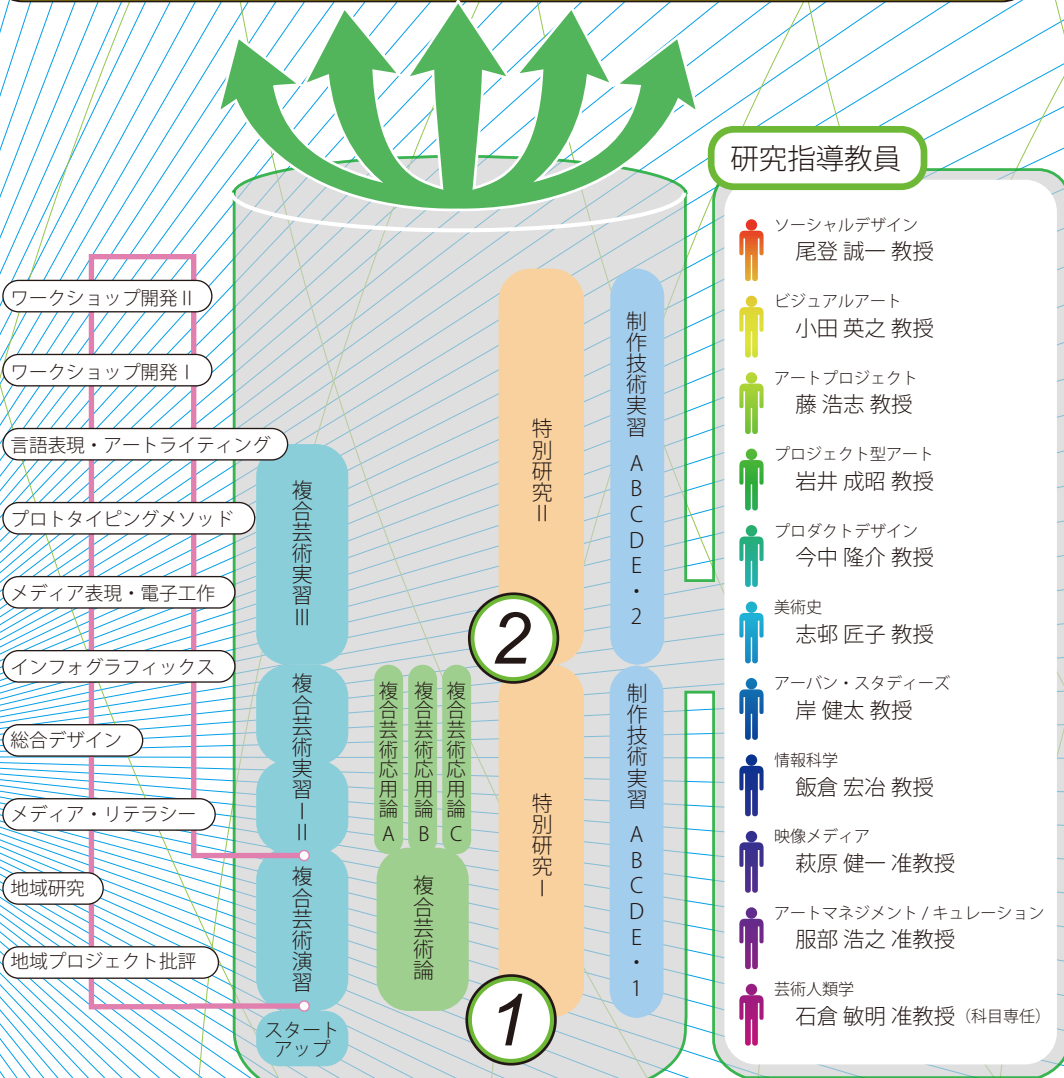
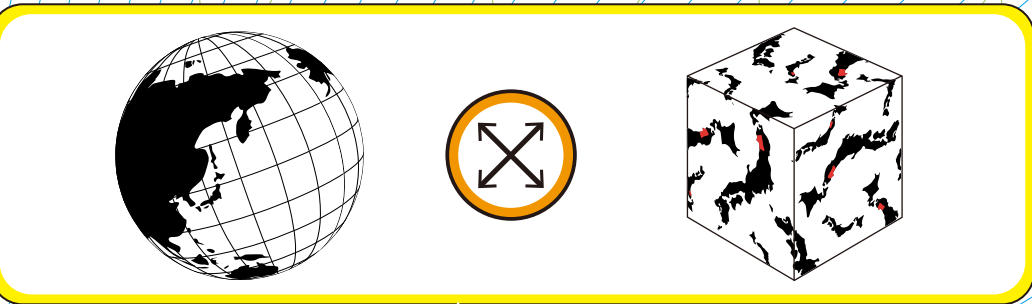
世界が直面する様々な問題を、ローカルとグローバル、アートとテクノロジー、個人と社会といった複数の軸を組み合わせ、複合的な取り組みを試みる大学院として設置されました。アートやデザインが持つ既存の価値や手法にとらわれず、複合的な視点に立ち個々の拡張と価値の交換を試み、思考をめぐらせ想像し、時には議論し、また協働しながら勇気を持って制作や研究に取り組みます。

公×民

このほかにも都市再生やワークショップ開発、アートライティング等を学び、世界中のアート・デザイン業界においてサイババルできる高い能力を身につけていきます。

テクノロジー×アート&デザイン

2年次は、アートやデザイン、ものづくりなどの多様な領域の基礎を横断的に学び、適性にあった分野を選びます。



- ### 研究指導教員
- ソーシャルデザイン 尾登 誠一 教授
 - ビジュアルアート 小田 英之 教授
 - アートプロジェクト 藤 浩志 教授
 - プロジェクト型アート 岩井 成昭 教授
 - プロダクトデザイン 今中 隆介 教授
 - 美術史 志邨 匠子 教授
 - アーバン・スタディーズ 岸 健太 教授
 - 情報科学 飯倉 宏治 教授
 - 映像メディア 萩原 健一 准教授
 - アートマネジメント/キュレーション 服部 浩之 准教授
 - 芸術人類学 石倉 敏明 准教授 (科目専任)

Starting Points

- 秋田公立美術大学5専攻
- 観光
 - 情報
 - メディアアート
 - 医学
 - 理学
 - 哲学
 - サブカルチャー
 - 農業
 - 道徳
 - 社会学
 - 美術理論
 - コンテンポラリーアート
 - 映像
 - ジャーナリズム
 - 人類学
 - 演劇
 - 身体表現
 - 経済学
 - デザイン
 - 環境学
 - 広告
 - 写真
 - 建築
 - 工学
 - 文学
 - アートマネジメント
 - 絵画
- ... and more!

「複合ってなんですか？」
「複合とは、単に二つ以上のものが集まって一つになるだけではなく、異なる領域への越境や手法の併用によって価値の相乗効果を生み、それまでに存在しなかった新たな次元を創造することです。現代芸術の場合、表現者の内と外にある「複合」が不可欠であると考えています。」

「では、内と外にある「複合」とは何ですか？」
「内にある「複合」とは、個人の中に蓄積される表現技術や知識、視野などを掛け合わせて生み出すこととする過程であり、外にある「複合」とは、対象とするテーマを取り巻く背景や人、制約などの状況を捉えて連携・協働・誘導することによって、多様な気付きや拡がりが生み出される過程であると考えています。」

「では、複合研究科は何を研究するのですか？」
「現代芸術を「複合」の視点から学術的に研究してまいります。具体的には、個々の表現領域の拡張に向けて、文化の多様性や混交性を背景とした複合的な芸術思想や表現形態など、芸術史における複合の事例を紐解きながら、アートイベントやソーシャル・エンゲージド・アートなどで具体化している複合的な表現等に関する知識や理論を学修してもらいます。さらに、テクノロジーなど情報技術等を組み入れた表現手法の修得などを予定しています。加えて、外的要素への有効な対応手段であるアートマネジメントやソーシャルデザインといった実践的手法を用いながら、取り巻く状況等への対応力を修得したうえで、自らのテーマに基づいた研究をしてもっとも高度人材を輩出できると考えています。」

「本学の学生だけでなく、全国から現代芸術領域を自ら拡張しているという意欲的な学生が集まる大学院が開設されるということですね！」
「それだけではありません。普遍的な思考力を身につけ、即戦力として活躍できる人材を輩出する大学院なので、企業や社会起業家、行政関係者、もちろん情報産業やローカルメディアからも注目されています。」